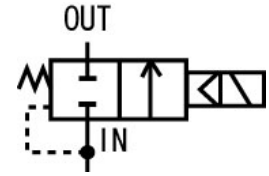


取扱説明書

パイロット式 通電開型
 二方向電磁弁
 型番号：BN - 7K23



1. 仕様

呼び口径：8A～40A
 配管接続口：Rc1/4～Rc1-1/2
 使用流体：空気・水
 使用圧力：0.03～1.0MPa
 耐圧力：1.5MPa
 周囲温度：-10～50
 図面番号：Z-4527(8A～15A) Z-4528(20A・25A)
 Z-4529(40A)

パイロット部

型番号：800型パイロット
 ヴルノイト型番号：P80-a
 定格電圧：AC100V/200(50/60Hz共用)
 消費電力：起動時 20/17VA(50/60Hz)
 定常時 12/9VA(50/60Hz)
 電圧許容範囲：±10%
 絶縁階級：E種
 パイロット図番：Y-7453

2. 構造

本弁はパイロット駆動のダイヤフラム式二方向電磁弁です。使用圧力範囲が広く、また外部と完全に遮断された構造となっているので流体が外部に漏れることはありません。

3. 作動

ソレノイドに通電するとプランジャ(806)は吸引されて上昇し、バルブ中央のパイロット穴が開きダイヤフラム上部室内の流体は二次側へ流れます。従ってバルブ(3)またはダイヤフラム(4)は一次側圧力によって押し上げられ本弁は開となり、一次側の流体は二次側に流れます。

ソレノイドを消磁するとプランジャ(806)はバネ(807)によって押し下げられパイロット穴は閉じられます。一次側圧力はダイヤフラムに設けられた小穴を通り流入するので、上部室内圧力は一次側圧力と等しくなり(またはダイヤフラム)は更に遅下げられ本弁は閉となります。

4 . 取扱い

4 . 1 取付・配管

- 1) 取付姿勢は直立を原則としてください。横に寝かせた姿勢は避けてください。
- 2) 取付穴は設けてありませんので配管で支持してください。
- 3) 流れ方向は本弁に示された矢印のように流体が流れるように取り付けてください。
- 4) 配管の前には配管内を十分にフラッシングして、固形物やシールテープ破片などが入り込まないようにしてください。
- 5) 配管の際はソレノイドカバー(802)を持ってねじ込まないようにしてください。
- 6) 逆圧が加わる恐れのある回路に使われるときは弁が逆圧のために開きましますので二次側に逆止弁を設けてください。
- 7) 保守点検に便利なように周囲に余裕空間を設けてください。

4 . 2 保 守

- 1) 取付後 1 ヶ月に 1 度は分解点検を行い良好なコンディションを維持してください。
- 2) 分解して部品洗浄の際は軽油などの鉱物性油を用いてください。シンナーやトリクレンなどの溶剤は用いないでください。
- 3) 本弁には潤滑油は不要です。摺動部にはグリースなどを塗らないようにしてください。

5 . 故 障

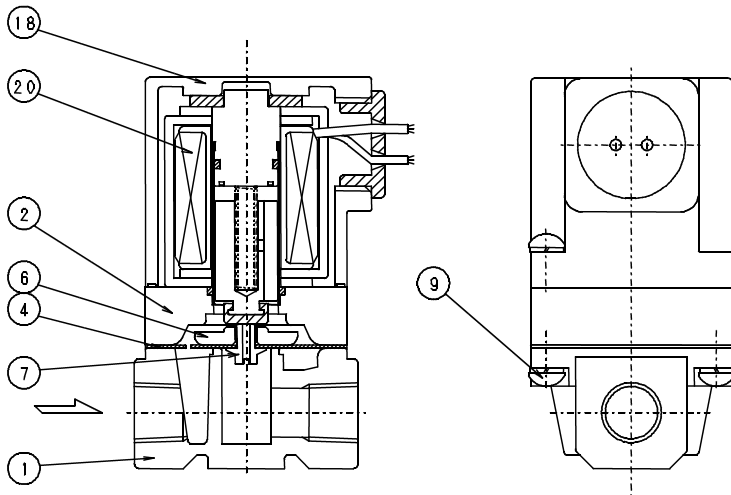
5 . 1 通電しても本弁が作動しないとき

- 1) 電気系統および電磁コイルを点検してください。
- 2) 空気流れの場合は、プランジャ(806)とパッキレスパイプ(808)を点検してください。これらの間にタール状のスラッジが付着してプランジャが動かないときがあります。粘着物を取り除いてください。

5 . 2 流体漏れ

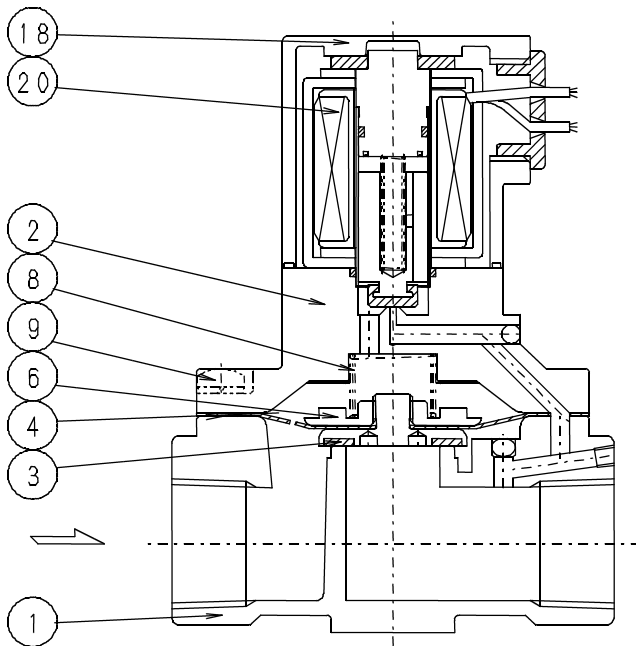
- 1) 弁閉時、二次側への漏れはバルブシートに異物噛みですので点検してください。
- 2) ダイアフラムが直接に閉止作用をする形式では、二次側への漏れはダイアフラムの破損です。点検してください。

6 . 構造図とパーツリスト
8 A ~ 1 5 A



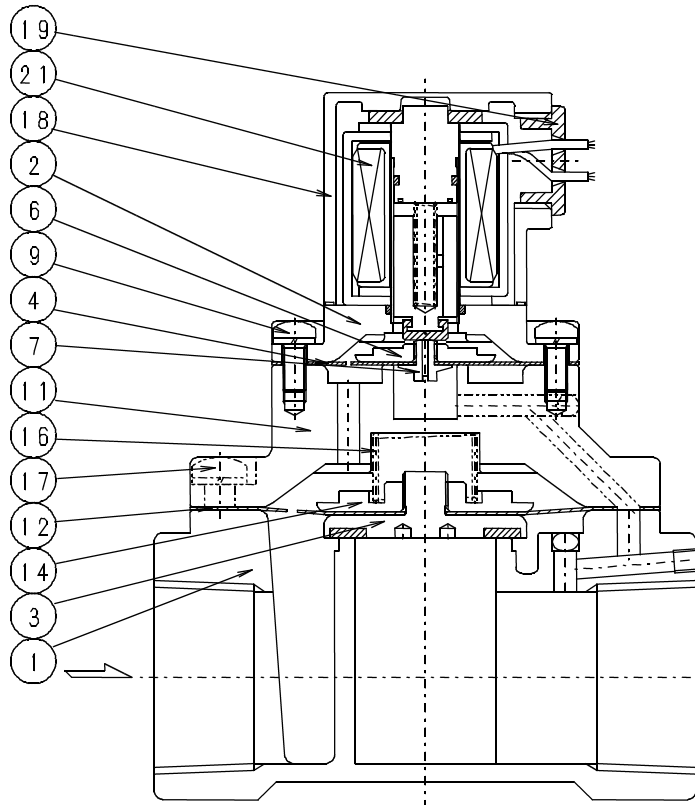
1	ボディ
2	カバー
3	
4	ダイヤフラム
5	
6	ダイヤフラムフォロ
7	パイロットオリフィス
8	
9	カバービス
18	ソレノイドカバー
19	
20	パイロットバルブ

2 0 A、2 5 A



1	ボディ
2	カバー
3	バルブ
4	ダイヤフラム
5	
6	ダイヤフラムフォロ
7	バルブバネ
8	バルブバネ
9	カバービス
18	ソレノイドカバー
19	
20	パイロットバルブ

40A



1	ボディ
2	カバー
3	バルブ
4	# 1 ダイアフラム
5	
6	# 1 ダイアフラムフォロー
7	# 1 パイロットオリフィス
8	
9	カバーピス
10	
11	ベース
12	# 2 ダイアフラム
13	
14	# 2 ダイアフラムフォロー
15	
16	バルブバネ
17	ベースピス
18	ソレノイドカバー
19	
20	
21	パイロットバルブ